

日本語の学習経験がない中国語母語話者は和製漢語をどのように意味推測するのか

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学国際日本学部 公開日: 2020-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小森, 和子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/20670

【献呈論文】

日本語の学習経験がない中国語母語話者は和製漢語を どのように意味推測するのか

How Chinese Native Speakers with No Experience of Learning the
Japanese Language Infer the Meaning of Wasei-Kango?

小 森 和 子
KOMORI, Kazuko

要旨

本研究では、日本語を学んだことがない中国語母語話者が未知の和製漢語をどのような意味だと推測するのか、正しく意味推測できるのかを検討するために、74語の和製漢語（漢字二字から成る語）を用いて調査を行った。調査の結果、中国語母語話者は中国語の知識をうまく活用すれば、3割程度の和製漢語を正しく意味推測ができることがわかった。また、和製漢語とその中国語相当語に同じ漢字が用いられ得る場合には、正しく推測できる場合が多い反面、それぞれの言語で当該漢字を用いた主要な漢字熟語に意味的なズレがある場合には、正しく推測できない傾向があることが示唆された。

キーワード：和製漢語、中国語母語話者、未知語、意味推測、語構成

1. はじめに

日本語の語種は、和語、漢語、外来語、混種語に大別される。コーパスなどを用いた大規模な語彙調査や辞書の見出し語の分析では、日本語の語彙の中で漢語の占める割合が非常に高いことが報告されている。例えば、コーパスに基づく調査では、茂木・山口・丸山・田中（2005）が語種辞典『かたりぐさ』（異なり語数 89,671 語）の語種比率を紹介しており、それによると、漢語が 42.0% で最も多く、次いで、和語が 41.7%、外来語が 8.0%、混種語が 8.3% であるという。また、松下（2008）では、国立国語研究所（2006）の『現代雑誌 200 万字言語調査語彙表（公開版 ver.1.0）』の高頻度語上位 5,000 語を分析したところ、最も多かったのは漢語で 46.2%、次いで、和語が 32.1%、外来語が 19.6%、混種語が 2.1% であった。さらに、辞書の分析では、沖森・木村・田中・陳・前田（2011）が『新選国語辞典（第九版）』の見出し語 76,536 語を調べたところ、漢語が 49.4%、和語が 32.2%、外来語が 9.0%、混種語が 8.4% であったという。その他の調査結果

を見ても、分析対象の資料や語の単位によって数値の違いはあるものの、漢語の比率は和語と同程度、あるいは、それ以上で、半数近くを占める重要な語であるということがわかる。

この漢語は、一般に中国語からの借用語として位置づけられることが多い。しかし、実際に漢語として分類されている語を見ると、日本で作られたいわゆる和製漢語も含まれている。和製漢語には、近代以降に中国に伝わり、現代語においては日本語でも中国語でも用いられ、日中同形語になっているものが多い。しかし、中国には伝わらず、日本でしか使用されていないものもある。文化庁(1978, 1983)では、日華辞典と華日辞典を対照し、漢語の分類を行った結果、漢語の約4分の1が和製漢語であると述べている。近年の調査では、松下(2008)が前掲の国立国語研究所(2006)の頻度上位5,000語の中の漢語2,180語について、これらが中国語の使用頻度表『現代漢語頻率詞典』に採録があるか否かを確認したところ、67.2%が採録のある日中同形語であったという。つまり、漢語の3分の2は日中同形語、残りの3分の1は和製漢語ということになる。さらに、熊・玉岡(2014)では、(旧)日本語能力試験の4級, 3級, 2級の二字漢語2,060語のうち、『現代漢語詞典(第6版)』などに採録のある語を日中同形語として数えた結果、1,509語あったという。つまり、73.25%が日中同形語、残りの26.75%、約4分の1が和製漢語であったということである。(旧) JLPTの4級から2級の語は初級から中級後半程度の語で、使用頻度の高い基本語彙である。松下(2008)も熊・玉岡(2014)も高頻度で用いられる漢語を対象に調査しており、その中で3分の1から4分の1が和製漢語であったという結果である。すなわち、日本語において使用頻度の高い漢語においては30%前後が和製漢語であるということが言えそうである。

これらの和製漢語は日本語にしかない語であるが、中国語を母語とする日本語学習者にとって、習得はあまり困難でないとされている。母語の知識が活用できない語であるため、初級段階では一語ずつ覚える必要があるものの、中国語に存在しないことから中国語とは意味が全く異なることが明白であるため、注意が向きやすく、意識的に学ぶ機会が増える。反対に、日中同形語のように中国語にも存在する語は、中国語と同じ意味用法だという思い込みを持ちやすく、二言語間の意味や用法の異同に気づきにくい。そのため、日本語の用法を正確に習得するには、分析的にその差異を理解し、習得しなければならない(加藤, 2005; 陳, 2003)。そのような背景もあって、日中同形語に比べると、和製漢語の方が習得が容易であると言われている(加藤, 2005; 小森・玉岡・斉藤・宮岡, 2014; 陳, 2003)。

しかし、陳(2009)が指摘するように、和製漢語の中には、「既婚」のように「既に」+「結婚」と推測しやすい語もあれば、「派手」のように推測が困難な語もある。推測が困難な背景には様々な要因が関わるが、どのような要因がどのように影響するかについては、まだ明らかになっていない。これが明らかになれば、推測が容易な語と困難な語の特徴を明示することができる。推測が容易な語は、時間をかけて日本語学習者に指導する必要はない。推測が困難な語に教授も学習も注力すればいいということになる。

そこで、本稿では、日本語学習者の和製漢語の習得に資することを目指し、和製漢語が中国語母語話者にとってどの程度意味推測が可能なのか、推測が容易な語と困難な語にはどのような特

徴があるのかを、検討する。

なお、本研究の基となるデータは、小森・早川・三國（2018）の調査で用いたデータの一部であるが、本研究では小森他（2018）で分析、考察していないデータについて論じる。調査対象語や調査の概要に関する記述は、小森他（2018）と一部重なる箇所がある。

2 先行研究

陳（2009）は、和製漢語には、日本語の知識がない中国語母語話者にも意味の推測が可能な語と、そうでない語があり、その推測の難易が日本語学習者の和製漢語の習得に影響を及ぼしていると述べている。なお、日本語教育では「和製漢語」を「N語」と称することがある。これは、文化庁（1978）が発表した漢語の分類以降定着した用語で、「Nothing語」という造語の縮約形である。そこで、本稿でも、先行研究において和製漢語が「N語」と称されている場合には、それに従い、「N語」という用語を用いる。

陳（2009）では、N語を、推測が容易なN①語と、推測が困難なN②語に分類し、それぞれについて、意味推測の調査を行った。調査対象語は、N①語は「既婚」、「敗戦」、「強気」、「買物」、N②語は「我慢」、「欲張」、「派手」、「怪我」である。調査対象者は台湾の日本語未習者15名で、意味を類推し、それを中国語で記述させるという方法で調査を行った。その結果、N①語は15名中10名以上が正答できたのに対して、N②語は全員が正答できなかった。この結果は大変興味深い。推測の容易さのN①とN②の弁別は、陳（2009）の内省に基づくもので、言語的な基準には則っていない。そのため、どのような語が推測しやすいか、どのような語が推測しにくいかにについては、示唆的ではない。

崔（2015）は、中国語を母語とする日本語学習者が、何を手がかりにして未知語の意味推測を行っているのか、を検討した研究である。日本語既習者61名を対象に、N語や日中同形語の正しい意味を四つの選択肢（中国語）から一つ選ばせるという方法で調査を行い、語彙の手がかり、文脈の手がかり、および二つの手がかりの統合、のいずれが意味推測に有効かを検討した。調査の対象となったN語は（旧）日本語能力試験の1級語彙で、「荷札」、「凶作」、「反骨」、「新規」、「好物」、「漸次」、「平明」、「断行」、「受賞」、「答申」、「拔本」、「降板」、「稼働」、「専念」、「想定」、の15語である。調査の結果、N語は、同形語に比べて、語彙の手がかりの使用率が低く、また、語彙の手がかりに依存しやすいのは、日本語習熟度の低いグループに顕著であることが示された。この研究は、意味推測の研究の一つではあるが、対象者は日本語学習者であり、まだ習得されていない語を対象語とすることで検討している。そのため、調査対象者は、日本語の和製漢語にはどのような語があるか、どのような構造を持つ和製漢語が多いのか、などのメタ言語的知識を有しており、それが推測に影響を及ぼした可能性がある。そのため、中国語の知識だけでどの程度の推測が可能なのかについては、明らかになっていない。

桑原（2012）では、非漢字圏学習者3名を対象に、計200語の漢字二字熟語（和製漢語以外も含まれる）について、文脈を示さずに単体で提示し、推測した意味を記述させるという方法で調

査を行った。調査の結果、非漢字圏日本語学習者は前項漢字と後項漢字を統語的に分析し、どちらが意味的な主要部であるかを考え、既知の漢字語彙の知識を活用しながら推測することが明らかになった。例えば、「破線」なら「線を破る」のような推測である。この結果は、非漢字圏学習者が語構成を考えながら、未知の漢語の意味を推測しようとしていることを示している。非漢字圏学習者であっても語構成を踏まえて意味推測を行うのであれば、中国語母語話者なら、中国語での単漢字の意味だけでなく、語構成の知識を活用して意味推測を行わないはずはない。ここから、中国語の単漢字の意味の影響や、和製漢語の語構成を中国語母語話者がどのように分析するかが、和製漢語の意味推測の成否に関わると予想されるであろう。

3 研究課題と調査方法

3.1 研究課題

先行研究の知見と以上の議論を踏まえ、本研究では「日本語を学んだことがない中国語母語話者が和製漢語を見たとき、何を手がかりに、どのように意味推測するのか」を課題とする。

3.2 課題の検討方法

本課題を検討するために、本研究では、調査対象語（例えば、「財布」）を簡体字（『財布』）で示し、推測した意味を中国語で書いてもらうという記述式のテスト（以下、意味推測テスト）を実施する（以下、簡体字には『 』を付して示す）。日本字体ではなく簡体字で調査対象語を示すのは、調査対象者が日本語の未習者であるため、日本字体から漢字を同定することが困難な場合があるからである。漢字が同定できた上で、中国語の知識をどのように用いて、和製漢語の意味を推測するのかを明らかにしたい。もし、日本語を学んだことがない中国語母語話者に日本字体で調査対象語を示すと、日本字体の漢字が中国語の簡体字の何に相当するのか、すなわち、書字レベルの推測を行ってから、意味の推測を行う必要があるだろう。そのため、日本字体で調査対象語を示すと、対象者が意味の推測に失敗した場合、日本字体の書字の推測はできたが、意味が推測できなかったのか、それとも、書字そのものの推測ができなかったのか、判別できなくなる。そこで、本研究では、書字から漢字は同定できるが、意味は未知の日本語をどの程度正しく意味推測できるかを検討するために、調査対象語を簡体字で示すこととする。

4. 調査対象語

4.1 調査対象語の抽出手順

調査対象語の抽出の一次資料には、小森・早川・李・玉岡（2017）の日中対照漢字二字熟語データベース（以下、データベース）を利用した。このデータベースは、(旧)日本語能力試験の4級から2級までの漢字二字熟語2,078語の語彙特性を集めた言語資料で、朴・熊・玉岡（2014）を基に作られたものである。表記、読み、語彙難易度（日本語教育語彙表 ver1.0 (<http://jhlee.sakura.ne.jp/JEL.html>)), (旧)日本語能力試験語彙級), 使用頻度（朝日新聞, 毎日新聞,

Sketch Engine, Tono et al. (2013)), 品詞 (『新明解国語辞典 (第7版) 机上版』), 語義 (『新明解国語辞典 (第7版) 机上版』), 文化庁 (1978) による漢語の分類 (S 語, O 語, D 語, N 語), 中国語の有無 (中国語にもある場合は, 中国語の表記, 『現代汉语词典 (第6版)』と『現代汉语规范词典 (第3版)』に基づく品詞と語義の情報を転載), 日中音韻類似度 (早川・于・初・玉岡 (2017)), 日中書字異形度 (茅本 (1996) に依拠) などを掲載した一覧である。

このデータベースの中で, 中国語の辞書に見出しがなく, 文化庁 (1978) の判定も N 語 (すなわち, 和製漢語) になっている語は 152 語あった。この中から, 「一日」のような数詞の類, 「県庁」や「上京」のような日本の社会文化的知識と関わるような語, 「時々」や「軽々」のように同じ漢字の繰り返しによる畳語などを除くと 118 語となり, さらに, 日本語の語義数が 1 つのみの語に絞った結果, 以下の 74 語が抽出された。今回はこれを本研究の調査対象語とすることとした。

医者, 映画, 栄養, 欧米, 会社, 火事, 感心, 機嫌, 寄付, 休講,
牛乳, 恐縮, 気楽, 近所, 計画, 月給, 見学, 見当, 見物, 懸命,
孝行, 財布, 砂漠, 司会, 自宅, 自慢, 車掌, 社説, 社長, 重役,
授業, 冗談, 商売, 食事, 食卓, 食器, 心配, 水泳, 制限, 生徒,
世話, 雑巾, 相談, 草履, 速達, 滞在, 大木, 単語, 遅刻, 知人,
駐車, 適切, 到着, 都心, 途端, 納得, 能率, 拝見, 配達, 売買,
発見, 封筒, 普段, 布団, 方角, 名所, 役所, 予定, 予約, 料金,
漁師, 両親, 両方, 廊下

4.2 調査対象語の語構成の判定

本研究では, 桑原 (2012) の知見を踏まえ, 調査対象語の語構成を確認しておく。意味推測の過程で, 中国語母語話者は前項漢字と後項漢字のそれぞれの意味と, 相互の意味の関係に着目する可能性があるからである。以下では, 本研究における語構成の判定の過程について, 詳述する。

4.2.1 前項漢字と後項漢字の意味の同定

調査対象語の語構成の判定を行う前に, 調査対象語を前項漢字と後項漢字に分け (例えば, 「計画」であれば, 「計」と「画」), それぞれの単漢字について, 『新潮日本語漢字辞典』で意味を同定した。この辞典を参照することにしたのは, 漢字の意味記述が詳細であり, さらに, 意味記述の中に用例が含まれているからである。例えば, 「計画」の場合, 前項漢字の「計」は『新潮日本語漢字辞典』には 6 つの意味が立てられており, その中に「<予定を決める>」という記述があり, その意味を持つ漢字語の用例の一つとして「計画」が挙げられている。また, 後項漢字の「画」は「ガ」と読む場合と「カク」と読む場合とで意味記述が分かれており, 「カク」の 5 つの意味記述の中に「<物事を実行しようとする>」があり, その用例として「計画」が含まれている。そこで, 調査対象語「計画」における前項漢字「計」の意味を「<予定を決める>」と同定し, 後項漢字「画」の意味を「<物事を実行しようとする>」と同定することとした。

4.2.2 調査対象語の語構成の判定

上記のようにして前項漢字と後項漢字の単漢字としての意味を同定した後、前項漢字と後項漢字の語構成を判定した。判定のための漢字二字熟語の語構成の枠組みは、日向(1985)と野村(1999)を参照し、本研究に適した枠組みを策定した。そこで、日向(1985)と野村(1999)の枠組みの概要を述べておく。

まず、日向(1985)は、前項漢字と後項漢字の関係を、並立関係、修飾関係、客体関係、実質関係の4つに大別している。並立関係は、「開閉」や「添加」のように、同意あるいは反意の関係である。修飾関係は、「安眠」や「乱入」のように、一方が他方を修飾する関係である。客体関係は、「読書」や「入院」のような、ヲ格、ニ格、カラ格などと動詞の組み合わせである。実質関係は、「強化」や「酸化」のように、語基と接辞による構成である。また、野村(1999)は、漢字の品詞性を事物類、動態類、様相類、副用類、接辞に特定した上で、前項漢字と後項漢字の関係を、補足関係、修飾関係、並列関係、対立関係、反復関係、接辞に分けている。このうち、補足関係は日向(1985)の客体関係に、修飾関係は日向(1985)の修飾関係に、接辞は日向(1985)の実質関係に、相当する。また、野村(1999)の並列関係、対立関係、反復関係は、日向(1985)では並列関係としてすべて含まれている。両者の枠組みは、分類の細かさや名称の違いはあるものの、おおむね一致している。

そこで、本研究では、日向(1985)と野村(1999)を統合して、並列関係、修飾関係、客体関係、接辞の4つを語構成の分類とすることとした。その上で、日本語母語話者3名が、前項漢字と後項漢字の関係について、それぞれ独立に判定し、2名以上が一致している判定を採用した。判定は、74語中60語で3名の判定が一致しており、残りの14語は2名が一致していた。

このようにして分類した結果(表1)、並列関係は11語、修飾関係は49語、客体関係は12語で、接辞は該当する語がなかった。また、これらに当てはまらないと判定されたその他は2語であった。この2語は「世話」と「普段」である。「世話」における「世」と「話」、「普段」における「普」と「段」は、それぞれの単漢字の意味が調査対象語の意味に反映されていないことが『新潮日本語漢字辞典』より確認された。そこで、『日本国語大辞典(第二版)』を参照したところ、「世話」は「せわしい(忙)」の「せわ」から作られた可能性があるとの記述があった。また、「普段」は、「不断」の当て字である旨の説明があった。

表1 調査対象語の語構成の分類

分類名	語数	内部構造と調査対象語の例
並列関係	11	前項漢字と後項漢字が類義、対義、反義であるもの。 例:「栄養」、「制限」、「寄付」
修飾関係	49	前項漢字と後項漢字が修飾、被修飾の関係であるもの。一方の漢字が動作を表し、他方の漢字が様態副詞のように動作の意味を限定するものも含む。 例:「大木」、「途端」、「重役」

客体関係	12	前項漢字と後項漢字が項構造を成すもの。 例：「感心」, 「休講」, 「見物」
その他	2	上記に該当しないもの。 例：「世話」, 「普段」

5 調査概要

調査は2016年9月に中国国内の大学で実施した。調査対象者は、過去に日本語の学習経験のない中国語母語話者で、大学に入学したばかりの学部1年生、42名である。

調査では、記述式の意味推測テストを実施した。その際、調査対象語（簡体字で表記）が日本語に存在する語であることを口頭でも質問紙上でも説明し、それぞれの語が日本語ではどのような意味だと思うか、推測した意味を中国語で記述するよう教示した。

6 結果と考察

6.1 意味推測テストの結果

意味推測テストは中国語による記述式であったので、調査対象語の各語について42名全員の解答を集計した。全74語の解答のバリエーションは、1語につき平均18.39種類（標準偏差6.88）であった。なお、バリエーションが最も少なかったのは「牛乳」で、調査対象者全員が『牛奶』（＜牛乳＞の意）と記述した（以後、混同を避けるために、中国語には『 』を付す）。反対に、バリエーションが最も多かったのは「重役」で、33種類あった。

意味推測の解答一つひとつについて、その推測が正しいと言えるかどうかを判定した。判定においては、対象語の日本語と解答の中国語をペアにして、同義と言えるかどうかという観点から判定した。例えば、調査対象語の「医者」に対する意味推測の解答は、『医生』（＜医者＞の意）、『治病的人』（＜病人を治療する人＞の意）、『治病的人』（＜病気を治す人＞の意）、『护士』（＜看護師＞の意）の4種類だったので、「医者」と『医生』、「医者」と『治病的人』、「医者」と『治病的人』、「医者」と『护士』のそれぞれのペアに対して、同義性判断を行った。判定者は、日中対照研究や日本語教育学が専門の中国人留学生の大学院生3名と中国語のわかる日本語教師2名（日本語教育歴15年と35年）の計5名である。

判定の基準は、同義、あるいは、ほぼ同義であれば「○」、全く意味が異なる場合は「×」、部分的に意味が重なる、あるいは、特定の文脈では意味が近い場合は「△」とした。5名の判定を統合し、4名以上が一致している判定を採用した。また、一致している判定が3名だった場合は、判定者間で協議をし、最終決定した。なお、一致しているのが2名以下の解答はなかった。

最後に、「○」は1点、「△」は0.5点、「×」と無答は0点として、調査対象者のそれぞれの意味推測の解答を得点化し、全74語（すなわち、74点満点）について、42名それぞれの得点を計算したところ、表2ようになった。平均は23.61点で、約32%の正答率であった。日本語が未習であっても、調査対象語の約3割については、正しく意味推測ができたということである。

表2 意味推測テストの結果

<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>Min</i>	<i>Max</i>	<i>N</i>
23.61	4.79	13.00	35.50	42

注1: *M*は平均、*SD*は標準偏差、*Min*は最低点、*Max*は最高点、*N*は調査対象者数を示す。
注2: 満点は74点である。

次に、どのような語が特に推測が容易で、どのような語が困難かを明らかにするために、各語について通過率（正答率）を確認した。通過率とは当該項目に正答した調査対象者の比率で、全員が正答なら「1」、全員が誤答なら「0」となる。ただし、今回は、同義性に判定において○と△を正答、×と無答を誤答とする二値データを整えてから、分析を行った。分析の結果、「牛乳」と「食卓」は通過率が「1」であった。反対に、通過率が「0」となったのは、「感心」、「機嫌」、「寄付」、「恐縮」、「気楽」、「見当」、「見物」、「車掌」、「重役」、「世話」、「途端」、「拝見」、「普段」、「布団」、「役所」の15語であった。なお、全語の結果は付録に示す。

6.2 語彙難易度との関係

次に、どのような語が意味推測に成功しやすいのかを確認するために、語彙難易度別(4級, 3級, 2級)に、通過率平均と標準偏差を求めたところ、表4の通りとなった。

表4 語彙難易度別の結果

JLPT 級	通過率		<i>N</i>
	<i>M</i>	<i>SD</i>	
旧2級	0.27	0.32	49
旧3級	0.34	0.31	15
旧4級	0.52	0.35	10
全体	0.32	0.33	74

注: *M*は平均、*SD*は標準偏差、*N*は項目数を示す。

対象語の数が語彙難易度ごとに異なるため、統計処理はできないが、難易度が低い語ほど通過率が高い傾向が認められる。4級語については通過率の平均が0.5を超えており、半数以上の調査対象者が推測に成功しているが、2級語は通過率が0.27と推測が容易でないことがわかる。

ただし、通過率の上位20位までの語の中で確認したところ(表6, 付録を参照)、4級語は「牛乳」(1.00)、「医者」(0.98)、「授業」(0.92)、「両親」(0.71)の4語のみであった。一方、通過率の下位20位までの語の中には4級語はなかった。下位の20位の語は通過率が0.00から0.05でほぼ全員が推測できなかった語であるが、その中には4級の語はなかったということである。4級で最も通過率が低かったものは、「封筒」(0.10)、次いで「財布」(0.14)、「映画」(0.21)、「廊下」(0.33)であった。

反対に、2級語について見てみると、通過率の上位20位の中に2級語は11語あった。例えば、「食卓」(0.99)、「砂漠」(0.94)、「駐車」(0.93)、「漁師」(0.88)、「到着」(0.79)、「孝行」(0.79)などである。

反対に、下位の20位で通過率0.00の2級語は、「途端」、「機嫌」、「重役」、「見当」、「気軽」、「恐縮」などである。なお、通過率の上位の語と下位の語の傾向については、6.4、および6.5で論じる。

6.3 語構成との関係

語構成と通過率の関係を検討するために、語構成別（修飾関係、客体関係、並列関係、その他）に通過率を求めたところ、表5の通りとなった。

表5 語構成別の結果

語構成	通過率		N
	M	SD	
修飾	0.28	0.19	49
客体	0.21	0.15	12
並列	0.35	0.17	11
その他	0.00	0.00	2
全体	0.27	0.19	74

注：Mは平均、SDは標準偏差、Nは項目数を示す。

こちら、語構成によって対象語の数にばらつきが大きい。一般的な傾向としては、並列関係が推測しやすく、客体関係は推測しにくい傾向があることがわかる。なお、その他は、「世話」と「普段」の2語で、意味と表記との対応関係がない語であるため、正しく意味推測できた者はいなかった。

具体的に見てみると、上位20位の中で並列関係の語は、「到着」(0.79)、次いで「制限」(0.74)、「計画」(0.60)、「売買」(0.55)の4語であった。下位20位においては、「寄付」(0.00)、「料金」(0.02)、「欧米」(0.05)の3語であった。並列関係は、前述したように（前掲表1参照）、前項漢字と後項漢字が類義や対義の関係であるため、意味の透明性が高く、推測しやすい可能性がある。例えば、「到着」の「到」は『新潮日本語漢字辞典』では「最終地点まで行き着く」であるが、『現代汉语词典（第6版）』（以下、『現代漢語』）を見ると、中国語の第一義には「达于某一点，到达，达到」（ある地点にたどり着く，到達する）の意味とある（日本語の意味と区別するために、中国語の意味は「>」を付す）。また、「着」については、『新潮日本語漢字辞典』では「つく，その地点に届く」であり、『現代漢語』では「接触，挨上」（接する，近づく）の意味とある。日本語においても中国語においても前項漢字と後項漢字の意味は近似しており、さらに、二言語間ではほぼ同じ意味である。このような語の場合には推測が容易なのであろう。

一方、修飾関係の語は、上位20位の中に12語あった。例えば、「牛乳」(1.00)、「食卓」(0.99)、「医者」(0.98)、「砂漠」(0.94)、「漁師」(0.88)、「到着」(0.79)、「孝行」(0.79)などである。また、下位20位の修飾関係は「見当」、「重役」、「機嫌」、「途端」、「恐縮」、「気楽」、「役所」、「布団」、「納得」、「拝見」、「相談」、「社説」で、全て2級語であった。いずれも通過率は0.00から0.05でほぼ全員が誤答となった。

6.4 通過率上位20位の語の傾向

前節で見たように、通過率の平均で見ると、語彙難易度の低い4級語と語構成が並列関係の語が、推測に成功しやすい傾向が認められた。しかし、通過率の上位語は必ずしも語彙の難易度が低いとは言えず、また、語構成も並列関係ばかりではない。そこで、通過率の上位20位までの語（20位の語が4語あるため23語）を取り出して、語彙難易度と語構成以外に推測に影響する要因を探索したところ、上位の語には対象語の日本語とその中国語相当語において漢字が一字以上一致しているものが多いことがわかる。表6に対象語とその中国語相当語、さらに、一致している漢字数などの語彙特性を示した。

表6 通過率上位20位の語とその語彙特性

順位	対象語	中国語相当語	一致漢字数	通過率 M	JLPT 級	語構成
1	牛乳	牛奶	1	1.00	4	修飾
2	食卓	餐桌	1	0.99	2	修飾
3	医者	医生	1	0.98	4	修飾
3	水泳	游泳	1	0.98	3	客体
5	砂漠	沙漠	1	0.94	2	修飾
6	駐車	停车	1	0.93	2	客体
7	授業	课、教课	0	0.92	4	客体
8	漁師	渔民	1	0.88	2	修飾
9	到着	到达	1	0.79	2	並列
9	孝行	孝顺	1	0.79	2	修飾
11	制限	限制	2	0.74	2	並列
12	両親	父母	0	0.71	4	修飾
13	食器	餐具	0	0.70	2	修飾
14	近所	附近	1	0.69	3	修飾
15	食事	吃饭	0	0.67	3	修飾
16	両方	双方	1	0.61	3	修飾
17	計画	计划	1	0.60	3	並列
18	発見	发现	1	0.57	2	修飾
19	売買	买卖	2	0.55	2	並列
20	遅刻	迟到	1	0.52	2	客体
20	名所	名胜(古迹)	1	0.52	2	修飾
20	配達	派送	0	0.52	2	修飾
20	草履	穿和服时的鞋子	0	0.52	2	修飾

まず、表6を見ると、二字とも一致しているものが「制限」と「売買」ある。それぞれ中国語では『限制』と『买卖』（日本字体で「買売」）で、前項漢字と後項漢字が日本語と逆になっているだけである。

また、一字が一致しているものは、23語中15語もある。具体的には表7の通りである。これ

らの特徴としては、対象語の漢字のいずれか一方の漢字だけで中国語では対象語の意味を表し得るという点が挙げられる。中国語の漢字は形態素文字とも呼ばれるように、漢字一字が意味を持つ語になり得ることが背景にある。

表7 漢字一字が一致している対象語 (通過率上位20位までの語)

対象語	牛乳	食卓	医者	水泳	砂漠	駐車	漁師	到着	孝行	近所	両方	計画	発見	遅刻	名所
中国語相当語	牛奶	餐桌	医生	游泳	沙漠	停车	渔民	到达	孝顺	附近	双方	计划	发现	迟到	名胜

例えば、「計画」は中国語の相当語は『计划』であり、日本字体にすると「計劃」となる。「計」は一致しているが、中国語相当語には「画」は含まれない。中国語の後項漢字の『划』はく(手で水などを)掻き分ける>という意味で、日本語の「計画」との関連性は全くない。しかし、中国語の『计』を『現代漢語』で調べると、以下のように七つの意味が記されており、④に『计划』が挙がっている。つまり、中国語母語話者は、日本語の「計画」の「計」だけを見ても、中国語の『计划』、すなわち、<計画する>という意味が想起できる可能性があるということである。

- ①計算(根据已知数通过数学方法求得未知数)
- ②总计(常用于统计或分别列举)
- ③测量或计算度数, 时间等的仪器
- ④主意, 策略, 计划
- ⑤做计划, 打算
- ⑥计较, 考虑(多用于否定式)
- ⑦姓

また、「遅刻」や「砂漠」についても同様のことが言える。「遅刻」の中国語相当語は『迟到』(日本字体で「遲到」)であり、前項漢字の「遲」が中国語と一致している。中国語の『迟』の意味を『現代漢語』で確認すると、<①慢, ②比规定的时间或合适的时间靠后>とある。②を日本語に直訳すると、<決められた時間や適切な時間よりも遅くなる>となり、まさに対象語の「遅刻」の意味である。また、「砂漠」の中国語相当語は『沙漠』で、後項漢字の「漠」が一致している。中国語の『漠』には、<①沙漠, ②冷淡地, 不经心地>の意味があり、一つ目の意味<①沙漠>が「砂漠」の中国語相当語である。さらに、中国語でも『砂』は使用されるが、『現代漢語』によると『砂』は<同“沙”(细小的石粒)>(「沙」(細かい石の粒)と同じ)と記されている。

このように漢字一字が一致している語の中には、その一致した漢字だけで対象語の意味全体を表すものが多く、そのような場合は意味推測が容易であると言えよう。

一方、上位20位までの語の中には、漢字が全く一致していない対象語が六つあった。「授業」(中国語相当語『课, 教课, 以下同)、「両親」(『父母』)、「食器」(『餐具』)、「食事」(『吃饭』)、「配達」(『派送』)、「草履」(『穿和服时的鞋子』)である。しかし、これらについても、対象語の漢字が中国語でも同じ意味を表し得る。

例えば、「授業」における前項漢字の『授』は、『現代漢語』には「传授，教」という意味，すなわち「教える」という意味があると記されている。また，後項漢字『業』（日本字体で「業」）は、『毕业』（日本字体で「卒業」），『结业』（日本字体で「結業」）で「学業を修める，終える」との意味のように用いられ，「学業，学問」との意味を持つ。つまり，この二つの漢字の意味の総和は「学業・技術を教えること」で，「授業」の意味に相当する。

また，「食器」や「食事」の場合，中国語の『食』には「①吃，②专指吃饭」（「食べる」，「食事をする」）という意味がある。後項漢字の『器』には「器具」という意味があり，『事』には「事情」（「こと」）という意味がある。よって，前項漢字と後項漢字を組み合わせれば，自ずと日本語の意味が導ける。

さらに，「両親」は，「両」の中国語『两』が「双方」との意味で，「親」の中国語『亲』（日本字体で「親」）も日本語と同じ意味である。前項漢字も後項漢字も意味は同じと言ってよい。

このように見ると，漢字が全く一致していない場合でも，漢字の持つ意味概念が非常に近ければ，推測はそれほど困難でないと考えようである。

6.5 通過率 0.00 の 15 語の傾向

本節では，全員が意味推測できなかった語について，検討する。通過率が 0.00 だった語は表 8 の 15 語である。この 15 語の語構成を見ると，9 語が修飾関係，3 語が客体関係，1 語が並列関係，残りの 2 語がその他である（表 8）。

通過率の高かった上位語とは対照的に，通過率 0.00 の 15 語の中に日本語と中国語相当語の間で漢字の一致が認められる語はなかった。そこで，これらの 15 語については，中国語母語話者がどのような意味だと推測したのかを個別に分析する。ただし，小森他（2018）で「途端」，「機嫌」，「重役」，「見当」，「世話」については既に論じているため，それ以外の 10 語のうち，本稿では修飾関係の 5 語，「拝見」，「役所」，「布団」，「恐縮」，「気楽」について検討する。

表8 通過率0.00の15語とその語彙特性

順位	対象語	中国語 相当語	一致 漢字数	通過率 M	JLPT 級	語構成
60	拝見	恭敬地看	0	0.00	3	修飾
60	見物	观看	0	0.00	3	客体
60	普段	平常	0	0.00	2	その他
60	役所	机关部門	0	0.00	2	修飾
60	布団	被褥	0	0.00	3	修飾
60	感心	佩服	0	0.00	2	客体
60	車掌	列车員	0	0.00	2	客体
60	寄付	捐贈	0	0.00	2	並列
60	恐縮	不好意思	0	0.00	2	修飾
60	気楽	轻松	0	0.00	2	修飾
60	世話	关照	0	0.00	3	その他
60	見当	估计	0	0.00	2	修飾
60	重役	董事	0	0.00	2	修飾
60	機嫌	心情	0	0.00	2	修飾
60	途端	一…就	0	0.00	2	修飾

6.5.1 「拝見」の意味推測

『新潮日本語漢字辞典』では、「拝見」の「拝」は<謹んで行く。自分の行為に関して相手に対する敬意を表す>とあり、「見」は<受け身の立場で目を使って知る>とあった。推測された意味は18種類あったが、調査対象者42名中17名(40.48%)が『拜访』と答えている。『拜访』(日本字体では「拜访」)は<年長者や目上の家などを訪問する>という意味の謙讓語の一種である。中国語の『拜』には、<①行礼表示敬意, ②见面行礼表示祝贺, ③拜访>と、敬意や祝意を表すためにお辞儀や挨拶をすることや、そのために人に会うという意味があり、『拜』そのものに人と面会する行為が含まれている。日本語の「拝」にも<貴重な物を見せていただく>という意味はあるが、見る対象は事物で、人は対象とならない。この点が中国語と異なる点である。一方、後項漢字の『見』は<看到, 接触, 看得出>などのように、<見える, 接触する, 目に入る>という意味や、<会见, 会面>のように<人に会う>という意味がある。これらを総合すると、中国語の『拜』にも『見』にも<人に会う>という意味が含まれ、さらに、『拜』には敬意を表すために人に会う、訪ねるという意味があることから、「拝見」が<目上の人に会う>ことだと推測し、『拜访』の産出が多かったのだと考えられる。このことは、『拜访』以外にも、『参见』、『参拜』、『拜見』、『见面』などの<目上の人に謁見する>という意味の類義語が複数推測されていたことから明らかである。

なお、当初、「拝見」は、使用した辞書に記載がなかったことから、中国語に存在しない和製漢語であるとしていたが、解答の中に『拜見』があったことため、確認したところ、中国語のコー

パスに出現があった。ただし、古典中国語での使用が多く、現代中国語ではあまり用いられていないようである。すなわち、日中同形異義語と考えるのが適当かもしれない。このように、現代中国語では用いられないが、古典では使われているという場合、和製漢語として認定するか否かについては、今後、慎重に検討したい。これは今後の課題としておく。

表9 「拜見」から推測された中国語

推測された意味	拜访	参见	参拜	拜见	见面	会见	看望	看见	去见某位长辈	行礼	再见	与某人会面	拜师	拜访	晚辈见长辈	见	谒见
人数	17	4	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

6.5.2 「役所」の意味推測

『新潮日本語漢字辞典』では、「役所」の「役」は〈国や官の行う仕事〉、「所」は〈特定のことを扱う施設や機関〉がそれぞれの意味として該当する。推測された意味は25種類で、そのうち20種類は1名のみでの解答であった(表10)。最も多かった解答は『監獄』(日本字体で「監獄」)であった。この他にも『劳役的场所』、『劳教所』という解答もあり、〈犯罪者が収監される場所〉を想起した者が多かった。その次に多かったのは『工作的地方』で、日本語にすると〈仕事をする場所、職場〉の意味である。このほかにも、『工作地点』、『工作所在地』、『任职地』、『上班的地方』、『工作处』、『工作地点』、『工作所在地』など、ほぼ同義の解答が多数あった。

〈犯罪者が収監される場所〉の推測が多かった理由としては、中国語の『役』の意味の影響が強い。『現代漢語』を見ると、『役』には、〈①需要出劳力的事、②兵役、③役使〉などの意味がある。①は〈労働することが求められていること〉という意味であるが、この『劳力』(日本字体で「劳力」で、〈労働〉の意味)とは一般的に何を指すか中国語母語話者に確認すると、国や政府から指示命令された労働を指すことが多く、中でも、収監された犯罪者が行う強制的、肉体的な労働が想起されるということであった。こうした『役』に関する中国語の百科事典的意味に基づいて、「役所」を〈強制的な労働が求められる場所〉に関わる「監獄」だと推測した者が多かったのだと考えられる。

一方、〈職場〉に関する推測が多かったのは、漢字そのままの意味を中立的に解釈して、『役』を行う『处』(日本字体で「処」と考えたためであろう。

表10 「役所」から推測された中国語

推測された意味	监狱	工作的地方	住所	公司	处所	劳役的场所	劳教所	办公处	办公室	旅店	服役的场所	服役地方	派出所
人数	11	4	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
推測された意味	任职地	地方	上班的地方	酒店	工厂	工作处	工作地点	工作所在地	警所	警局	会所	意识	无答
人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

6.5.3 「布団」の意味推測

「布団」は『新潮日本語漢字辞典』には「布」が「ぬの。縦糸と横糸を緒って作った平たい物。織物」

7 おわりに

本研究では、日本語を学んだ経験のない中国語母語話者が未知の和製漢語を見て、どのような意味だと推測するのか、日本語の意味を推測できるのか、について検討した。その結果、和製漢語の中でも中国語相当語と漢字一字が一致している語や、和製漢語を構成する漢字が中国語では形態素として和製漢語全体の意味を表し得る語の場合には、未知であっても、比較的正確に意味推測ができることがわかった。

反対に、「気楽」の考察で見た「気」と『气』から想起される語の違いのように、単漢字レベルで意味概念が似ていても、それぞれの漢字が用いられている高頻度語の意味が全く異なれば、和製漢語を正しく意味推測することは難しい可能性も示唆された。ただし、この点については、前述の通り、それぞれの漢字を含む語を列挙し、当該漢字がそれぞれどのような意味を表しているのかを分析した上で、どのような意味で当該漢字が語として用いられることが多いのかを考察することで、意味推測のしやすさが検証できる可能性がある。本稿ではこの点については検討ができなかったため、今後の課題としたい。

さらに、本研究の発端は、中国語を母語とする日本語学習者が時間を割いて学習しなければならない和製漢語が何かを見極めるために、どのような和製漢語が推測しやすく、どのような和製漢語が推測しにくいかを明らかにしたいと考えたことによる。よって、今後は、日本語未習の中国語母語話者にとって意味推測がしやすい語ほど日本語学習者は習得しやすいのか、反対に、未習者にとって意味推測がしにくい語は学習者にとっても習得が遅れるのかを、実証していきたい。

加えて、日中の言語交流が進み、もともとは和製漢語であったものが中国語でも使用されつつあり、日中同形語が拡大傾向にある。また、古典中国語では用いられていたが現代中国語では使われない語については、和製漢語として位置づけるのか、それとも、同形語として位置づけるべきか、どのような基準で和製漢語と称するべきかについても、検討が必要である。今後は現代中国語の言語変化も注視し、和製漢語や同形語の定義も再考していく必要がある。この点も今後取り組んでいきたい。

付記

本稿は2018年度をもって定年退官なさる吉田悦志先生に捧げるものです。

本研究の一部はJSPS科研費15K02656の助成を受けています。本研究の基礎となる小森・早川・三國(2018)の共同執筆者である一橋大学の早川杏子さん、文化学園大学の三國純子さん、また、科研の共同研究者である名古屋大学大学院の玉岡賀津雄先生、早稲田大学大学院の李在鎬さんに心から感謝いたします。

最後に、調査の準備と実施、さらには、中国語の分析や考察においては、明治大学大学院国際日本学研究科の黄叢叢さんにご協力とご示唆を賜りました。ここに記して深く感謝申し上げます。

参考文献

- 沖森卓也・木村義之・田中牧郎・陳力衛・前田直子（2011）『図解日本語の語彙』三省堂.
- 加藤稔人（2005）「中国語母語話者による日本語の漢語習得—他言語話者との習得過程の違い—」『日本語教育』125, 96-105.
- 茅本百合子（1996）「日本語漢字と中国語漢字の形態的・音韻的差異が中国語母語話者による日本語漢字の読みに及ぼす影響」『広島大学教育学部紀要 第二部』45, 345-352.
- 桑原陽子（2012）「漢字2字熟語の意味推測に及ぼす語構成に関する知識の影響—主要部の位置との関わりから—」『福井大学留学生センター紀要』7, 1-10.
- 国立国語研究所（2006）『現代雑誌200万字言語調査語彙表 公開版』 < https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/mag200.html >（最終閲覧日：2019年1月24日）.
- 小森和子・玉岡賀津雄・斉藤浩信・宮岡弥生（2014）「第二言語として日本語を学ぶ中国語話者の日本語の漢字語の習得に関する考察」『中国語話者のための日本語教育研究』5, 1-16.
- 小森和子・早川杏子・三國純子（2018）「中国語母語話者は和製漢語を正しく意味推測できるのか—日本語未習者への調査から—」『中国語話者のための日本語教育研究』9, 69-83.
- 小森和子・早川杏子・李在鎬・玉岡賀津雄（2017）「日中対照漢字二字熟語データベースの構築と語彙特性の分析に関する研究」『2017年度日本語教育学会秋季大会』389-394.
- 崔娉（2015）「日本語の未知漢字語彙の意味推測に見る中国語を母語とする学習者の推測手がかりの利用—漢字語彙の日中対応関係及びL2習熟度の観点から—」『言語文化と日本語教育』50, 61-70.
- 小学館国語辞典編集部（編）（2003）『日本国語大辞典 第二版』小学館.
- 新潮社（編）（2007）『新潮日本語漢字辞典』新潮社.
- 陳毓敏（2003）「中国語を母語とする日本語学習者における漢語習得研究の概観：意味と用法を中心に」『言語文化と日本語教育』増刊特集号, 96-113.
- 陳毓敏（2009）「中国語母語学習者の日本語の漢字習得研究のための新たな枠組みの提案—意味使用の一般性と意味推測可能性を考慮して—」『日本語科学』25, 105-117.
- 野村雅昭（1999）「サ変動詞の構造」森田良行教授古稀記念論文集刊行会（編）『日本語研究と日本語教育』1-23, 明治書院.
- 朴ソンジュ・熊可欣・玉岡賀津雄（2014）「同形二字漢字語の品詞性に関する日韓中データベース」『ことばの科学』27, 53-111.
- 早川杏子・于劭贇・初相娟・玉岡賀津雄（2017）「日中二字漢字語における客観的音韻類似性指標—主観的音韻類似性指標との比較—」『関西学院大学日本語教育センター紀要』6, 21-34.
- 日向敏彦（1985）「漢語サ変動詞の構造」『上智大学国文学論集』18, 161-179.
- 文化庁（1978）『中国語と対応する漢語』文化庁.
- 文化庁（1983）『漢字音読語の日中対応』文化庁.
- 松下達彦（2009）「マクロに見た常用漢字語の日中対照研究—データベース開発の過程から—」『桜

美林言語研究論叢』5, 117-130.

茂木俊伸・山口昌也・丸山岳彦・田中牧郎 (2005) 「語種辞書『かたりぐさ』の開発と月刊雑誌の語種構成分析」『言語処理学会第11回年次大会予稿集』 < http://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2005/pdf_dir/P3-15.pdf > (最終閲覧日: 2019年1月24日) .

山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄・上野善三・井島正博・笹原宏之 (編) (2012) 『新明解国語辞典 第七版【机上版】』三省堂.

熊可欣・玉岡賀津雄 (2014) 「日中同形二字漢字語の品詞性の対応関係に関する考察」『ことばの科学』27, 25-51.

中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (編) (2012) 『现代汉语词典 第6版』商务印书馆.

李行健 (主编) (2014) 『現代漢語規範詞典 第3版』外语教学与研究出版社.

付録

順位	対象語	中国語相当語	一致漢字数	通過率 M	通過率 SD	JLPT 級	語構成
1	牛乳	牛奶	1	1.00	0.00	4	修飾
2	食卓	餐桌	1	0.99	0.08	2	修飾
3	医者	医生	1	0.98	0.15	4	修飾
3	水泳	游泳	1	0.98	0.15	3	客体
5	砂漠	沙漠	1	0.94	0.23	2	修飾
6	駐車	停车	1	0.93	0.26	2	客体
7	授業	课、教课	0	0.92	0.27	4	客体
8	漁師	渔民	1	0.88	0.33	2	修飾
9	到着	到达	1	0.79	0.42	2	並列
9	孝行	孝顺	1	0.79	0.42	2	修飾
11	制限	限制	2	0.74	0.45	2	並列
12	両親	父母	0	0.71	0.46	4	修飾
13	食器	餐具	0	0.70	0.33	2	修飾
14	近所	附近	1	0.69	0.47	3	修飾
15	食事	吃饭	0	0.67	0.48	3	修飾
16	両方	双方	1	0.61	0.49	3	修飾
17	計画	计划	1	0.60	0.50	3	並列
18	発見	发现	1	0.57	0.50	2	修飾
19	売買	买卖	2	0.55	0.50	2	並列
20	遅刻	迟到	1	0.52	0.49	2	客体
20	名所	名胜(古迹)	1	0.52	0.51	2	修飾
20	配達	派送	0	0.52	0.48	2	修飾
20	草履	穿和服时的鞋子	0	0.52	0.00	2	修飾
24	月給	工资	0	0.48	0.45	2	修飾
24	自慢	骄傲	0	0.48	0.30	2	修飾
26	生徒	学生	1	0.46	0.43	4	並列
27	大木	大树	1	0.45	0.50	2	修飾
28	自宅	自己(的)家	1	0.43	0.50	2	修飾
29	適切	恰当	0	0.40	0.50	2	並列
29	社長	总经理	0	0.40	0.50	3	修飾
31	火事	火灾	1	0.39	0.49	3	修飾
32	予約	预约	1	0.36	0.49	3	修飾
32	会社	公司	0	0.36	0.49	4	並列
34	単語	单词	1	0.33	0.46	2	修飾
34	廊下	走廊	1	0.33	0.48	4	修飾
34	見学	参观学习	1	0.33	0.00	2	修飾
37	雑巾	抹布	0	0.29	0.46	2	修飾

順位	対象語	中国語相当語	一致漢字数	通過率 M	通過率 SD	JLPT 級	語構成
37	予定	安排	0	0.29	0.46	3	修飾
39	滞在	逗留	0	0.25	0.35	2	修飾
40	映画	电影	0	0.21	0.42	4	修飾
41	能率	效率	1	0.19	0.40	2	修飾
42	商売	生意	0	0.17	0.38	2	修飾
43	財布	钱包	0	0.14	0.35	4	修飾
43	心配	担心	1	0.14	0.35	3	客体
45	封筒	信封	1	0.10	0.30	4	客体
46	速達	快递	0	0.08	0.27	2	修飾
47	都心	市中心	1	0.07	0.26	2	修飾
47	栄養	营养	1	0.07	0.26	2	並列
47	冗談	玩笑	0	0.07	0.26	2	修飾
50	知人	熟人	1	0.06	0.23	2	修飾
50	方角	方向	1	0.06	0.23	2	修飾
50	司会	主持	0	0.06	0.23	2	客体
53	相談	商量	0	0.05	0.22	3	修飾
53	休講	停课	0	0.05	0.22	2	客体
53	社説	社论	1	0.05	0.19	2	修飾
53	欧米	欧美	1	0.05	0.22	2	並列
53	懸命	拼命	1	0.05	0.22	2	客体
58	料金	費用	0	0.02	0.15	2	並列
59	納得	领会	0	0.01	0.08	2	修飾
60	拝見	恭敬地看	0	0.00	0.00	3	修飾
60	見物	观看	0	0.00	0.00	3	客体
60	普段	平常	0	0.00	0.00	2	基準外
60	役所	机关部门	0	0.00	0.00	2	修飾
60	布団	被褥	0	0.00	0.00	3	修飾
60	感心	佩服	0	0.00	0.00	2	客体
60	車掌	列车员	0	0.00	0.00	2	客体
60	寄付	捐赠	0	0.00	0.00	2	並列
60	恐縮	不好意思	0	0.00	0.00	2	修飾
60	気楽	轻松	0	0.00	0.00	2	修飾
60	世話	关照	0	0.00	0.00	3	基準外
60	見当	估计	0	0.00	0.00	2	修飾
60	重役	董事	0	0.00	0.00	2	修飾
60	機嫌	心情	0	0.00	0.00	2	修飾
60	途端	一…就	0	0.00	0.00	2	修飾